

学位被授与者氏名	永野 香代子 (ながの かよこ)
論文題目	社会福祉法人の公益的取り組みが地域に与える影響について
論文審査結果の要旨	<p>国の施策によって社会福祉法人の改革が求められている中であって、社会福祉法人の存在意義を明らかにするために、社会福祉法人が行う公益的取り組みに着目し、公益的取り組みの効果について分析を行ったことは高く評価できる。また、社会福祉法人理事長という立場を生かしたアクションリサーチは、全国的にも希少かつ貴重であると思われる。</p> <p>課題としては、国による社会福祉制度改革全体の整理およびそこでの社会福祉法人改革の意味を明確化することが挙げられる。なぜ今、国は社会福祉法人の改革を求めているのか。それについて時代背景、社会的背景を含めて整理し、同時に、現在、社会福祉法人に求められている対象者への支援の質の向上という課題と地域住民に向けた公益的取り組みの課題について、さらに踏み込んで整理する。その上で、社会福祉法人の地域での公益的取り組みについて議論が展開されれば、本研究の意義はより明確になったのではないかと考える。</p> <p>また、他の社会福祉法人が行っている「公益的取り組み」について3事例紹介されているが、そこでの事例検討が後の議論にどのように反映されているのかが不明である。他法人による事例の検討は、自らのアクションリサーチに何か影響を与えたのか、また、結論部分に何らかの形で反映されたのか。もし本論文で抽出された「有用性」が他法人による実践事例でも観察されたのであれば、本論文の結論の妥当性はより高まったのではないかとと思われる。</p> <p>2019（平成 31）年 2 月 19 日に、北九州市立大学北方キャンパス 4 号館 4-301 教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士（人間関係学）として十分な内容であると判定した。</p>